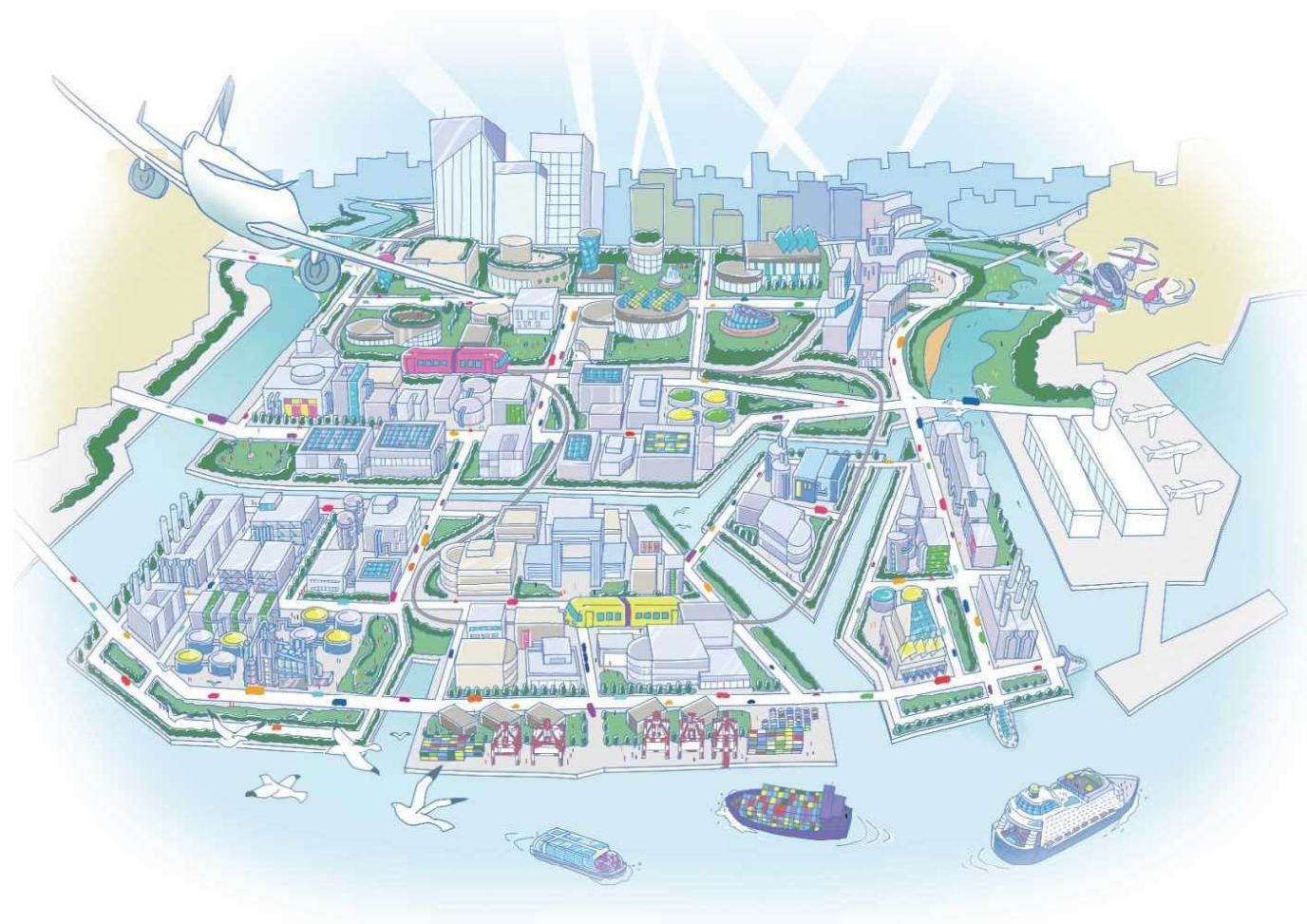


臨海部ビジョン

～ 川崎臨海部の目指す将来像 ～



川崎市

基本戦略 3

最適なエネルギー環境の構築

市内のCO₂排出量の7割以上を産業部門が占める中、パリ協定をはじめとして地球温暖化対策の世界全体の取組が求められています。また、環境・エネルギーの取組を率先して進めてきた臨海部においては未利用エネルギーの利活用が課題となっている中、最先端のAI、IoT技術の活用による電力系統と水素系統の連携を通じて再生可能エネルギーの導入を進め、**世界最高レベルの安定的でクリーンなエネルギー環境を構築し、臨海部エリア全域のゼロエミッション化を進めます。**

現状と課題

- 市内のCO₂排出量の7割以上を産業系が占める
- 未利用エネルギーの利活用が課題



目指すシナリオ

- 産業競争力の強化に資する安定的でクリーンなエネルギー環境の構築と臨海部全域のゼロエミッション化の実現

【臨海部の地域資源】

- 水素などの次世代エネルギーの導入・利活用を可能とする臨海部コンビナートのインフラや技術
- 首都圏の一般家庭の電力消費量に相当する電力供給ポテンシャル



戦略アプローチ

- 臨海部の特徴を活かし、水素など次世代型クリーンエネルギーシステムを導入・利活用することで最適なエネルギー環境を構築する。
- 最先端のAIやIoT技術を積極的に活用しながらゼロエミッション化に資する様々なエネルギーソリューションの社会実装を進める。
- 産業集積の強みを活かした国際貢献を行いながら、産業と環境が高度に調和した低炭素型産業地帯を実現する。

プロジェクト ④	低炭素型インダストリーエリア構築プロジェクト
-------------	-------------------------------

臨海部の産業集積を活かしたCO₂削減等の環境配慮の取組を進めていくために、各事業所の環境対策や環境配慮行動を進めながら、川崎臨海部の優れた環境技術・製品等の普及拡大にも取り組めます。

低炭素社会の構築に資する先進的・先導的な取組の推進により、新たな環境技術の社会実装等を進め、世界をリードする低炭素型産業エリアのモデル地域を形成します。

《主たる基本戦略》 **3. 最適なエネルギー環境の構築**

《関連する基本戦略》 1. 新産業の創出、2. 基幹産業の高機能化、6. 生活環境の向上

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 川崎臨海部には、低炭素・資源循環・エネルギー等の多くの環境技術・産業が集積している。市内のCO₂排出量の7割以上を産業系が占めており、低炭素化を進める上で、臨海部の果たす役割は大きい。 ● 環境と経済を両立しながら、大幅な低炭素化を実現する必要がある。また臨海部での取組効果を広く国内外にも波及させていく必要がある。



達成目標と取組内容		
<p>◆ 各事業所での環境対策を着実に行うとともに、AI やIoT等の新たな技術の積極的導入や社会実装を進め、臨海部の産業集積を活かして環境課題を解決していくモデル地域を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス削減に向けた各企業の自主的取組の実施と、利用可能な最善技術の積極的な導入 ＜企業＞ ・ 産業集積の強みや特徴を活かした先進的研究開発や実証事業等のプロジェクトの実施＜協働＞ ・ エネルギーの最適利用やAI、IoT等の利活用などによる低炭素型エリア構築に向けたモデル事業を展開＜協働＞ 		
時間軸	第1段階（～5年）	新たな環境技術の導入に向けた検討等を進めプロジェクトを創出し、低炭素型産業エリアの構築に向けて検討する。
	第2段階（～10年）	モデル事業や実証事業等の先導的プロジェクトを展開し低炭素型産業エリアのモデル地域形成に向けて取り組む。

プロジェクトイメージ

